

研究情報公開

受付番号	23-13
研究課題名	Functional Independence Measure 利得が全国平均より向上した脳梗塞後の患者の入院時特性
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法部 理学療法士 古謝帝
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>本研究は脳梗塞後の患者を対象とし、回復期リハビリテーション協会が報告している疾患別のFIM利得を基準に、FIM利得が全国標準よりも向上した患者の入院時特性を調査します。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方 当院に入院した脳梗塞後の患者様</p> <p>●利用するカルテ情報 年齢、性別、BMI、脳梗塞病型（ラクナ梗塞/アテローム血栓性脳梗塞/心原性脳梗塞）、発症から入院までの日数、麻痺側（右/左）、NIHSS、麻痺側下肢Brs、下肢MMT、FACT、BBS、FIM、その他、研究を行うあたり必要なデータの収集を行う。</p> <p>●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者様のリハビリテーション介入を分析する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>調査により得られた被験者の情報を扱う際は、情報提供元のちゅうざん病院で個人情報とは関係ない符号または番号を付して匿名化、論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、個人情報の保管については鍵のついた物に保管するなどして他者に漏洩されない状態で保管する。保管責任者は、ちゅうざん病院倫理審査申請書に記載する本研究の責任者とする。</p>
研究期間	承認日～